

うすい塩酸
えんさん

かけるよ息する
いき

石灰岩
せっかいがん

〜ひとことメモ〜

サンゴ礁や貝がらがつもってできた石
(堆積岩)。

うすい塩酸をかけると、私たちと同じように二酸化炭素がでてきます。これは、サンゴ礁などの成分(炭酸カルシウム)と塩酸による化学反応によってできるものです。私たちの身の回りでは、コンクリートなどに利用されています。

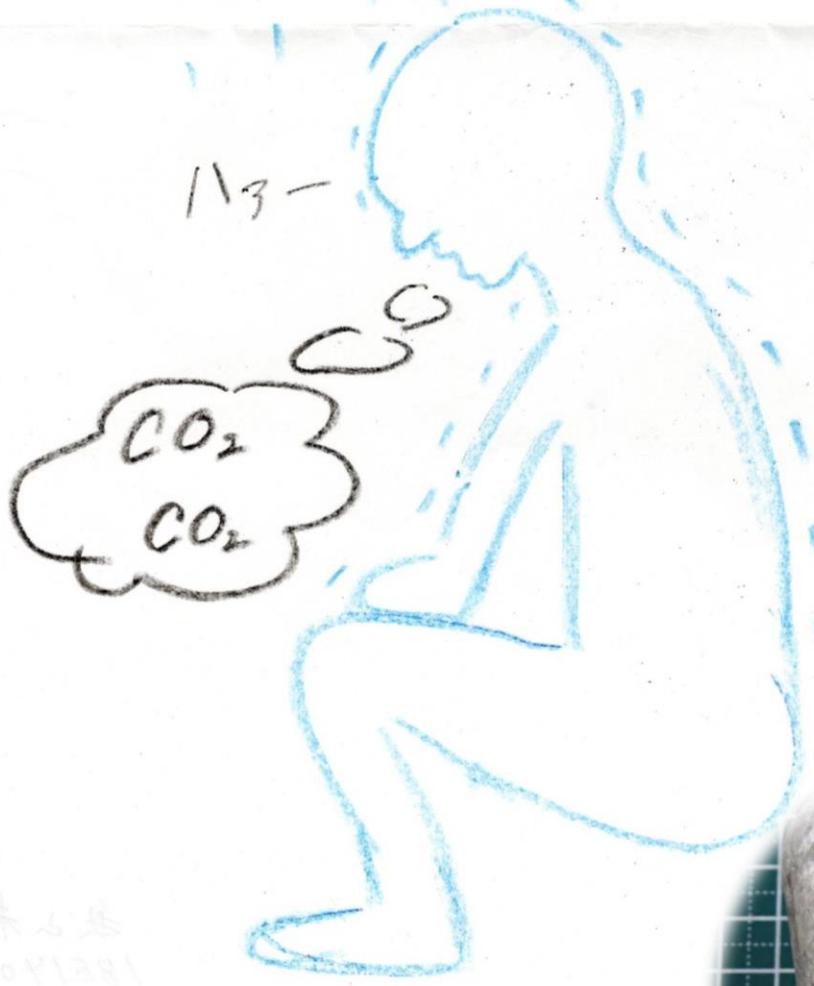
10

ためいき

石灰岩

2人さん

113-



1041291

いとお割れる石

わ

がんせき

頁石

けつがん

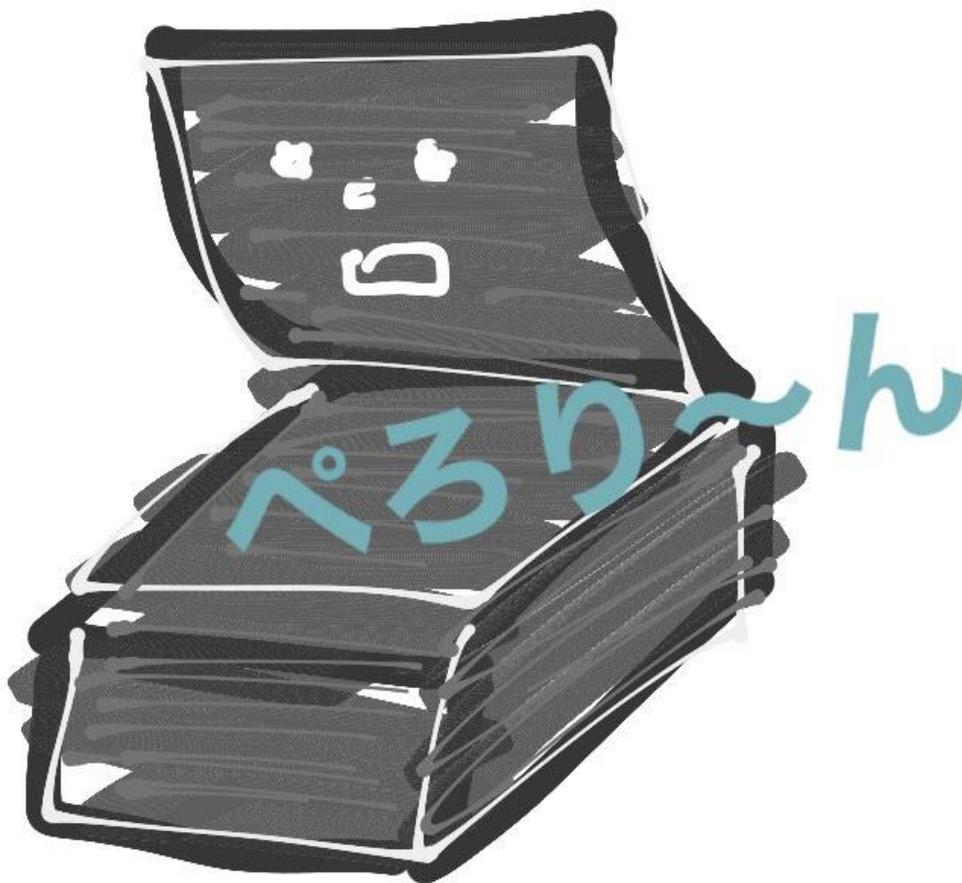
〜ひとことメモ〜

頁岩（けつがん）..シルトや粘土を
主体とする泥岩のうち、堆積面に沿っ
てうすく層状に割れやすい性質をもつ
堆積岩。この性質をへき開性という。
「頁」という漢字は、本の「ページ」
と、いう意味があり、へき開性をもつこ
とから命名された。



う

うわあ～
剥がれる～



※実際はこんなに曲がりません